



中華事始卷之六目錄

動植門 第十六

鳥獸 トリケタモウ

一

龜魚 カメウラ

二

草木 クサキ

三

五穀 ゴコク

四

稻 ワセゴメ

又

胡麻 ゴマ

六

波稜菜 ハレンサウ

七

胡荽 コスイ

八

大蒜 タイサン

九

牡丹 ボタン

十

安石榴 ザクロ

十一

葡萄 ブドウ

十二

橘 ダイダイ

十三

胡桃 クルミ

十四

木綿 モメン

十五

佛家門 第十七

佛入中國 ホトケ

十六

僧 ソウ

十七

尼 ニ

十八

僧寺 ソウジ

十九

尼寺 ニジ

二十

佛像 ブツザウ

二十一

佛塔 ブツタウ

二十二

佛經 ブツキョウ

二十三

譯經	二十四	戒律	二十五	戒壇	二十六	受戒	二十七
尼壇	二十八	尼受戒	二十九	禪法	三十	稱釈	卅一
僧講	卅二	尼講	卅三	僧謚	卅四	僧官	卅五
僧錄	卅六	僧号	卅七	僧紫	卅八		

中華事始卷之六目錄終

中華事始卷之六

動植門 第十六

鳥獸一

酉陽雜俎よ云。羽嘉と云もの。死終を生す。鳳凰ハ鳳凰を生す。鳳凰ハ鸾を生す。鸾ハ。度鳥を生す。色赤。建ち成るも。建鳥。麒麟をうむ。麒麟。度獸を生す。鳥獸。始也。淮南子の後。徐愨が二五曆といふ。己地は始。三の白鳥あり。是を鳥を生す。

漢事始卷六

二

波稜菜 ハレンサイ 七

唐會要タウクイヨウ云云尼婆羅ニハハラより波稜ハレンサイとタテマツ取トり

胡荽 コスイ 八

博志ハツフツシ云云張騫チヤウケン大夏タイカより使ツカヒして胡荽コスイと取トり

大蒜 タイサン 九

切款セツイン云云張騫チヤウケン西域サイイキより使ツカヒして大蒜タイサンと取トり

論カ云云漢カン乃時より始ハジむレ云々

牡丹 ホタン 十

隋煬帝ズイヤウテイ此世より始ハジめて牡丹ホタンと傳ツタへ唐タウ乃代ヨに

本草ホウボウ云云開元カイゲンの時キョウ唐玄宗タウセンの宮中キウチュウ及ミ民ミンる

競キョウてシれと尚タツトふ今イマもシ亦オホ魚イサ池チとシぬ

安石榴 ガク 十一

博志ハツフツシ云云張騫チヤウケン西域サイイキより使ツカヒしてカニ回カニりカニ時カニは

その所カニ所カニ也

葡萄 ブドウ 十二

是又タイカ大夏タイカよりカニ取カニらカニるカニ石榴ガクとカニ取カニらカニるカニ中カニ云カニ云

云々漢カン云西域サイイキ博志ハツフツシ漢使カンシの時カニ葡萄ブドウ首モク葡萄シユク

乃カニ將カニ來カニれカニとカニ所カニ也カニ西陽サイヤウ雜俎ザソ云云是又

張^{チヤウケン}寒^{カン}が^ケ鈴^{シユ}の^ノ不^フと^トり^リ。

棧^{タチハナ} 十三

後^コ漢^{カン}本^キの^ノ衡^{ケウ}耳^{キツ}棧^{セン}子^{ジュ}樹^{ジュ}と^トう^ウも^モ一^{イチ}の^ノあり^リ

胡桃^{クワミ} 十四

物^{モノ}志^シの^ノ云^{クニ}。張^{チヤウケン}寒^{カン}の^ノ玉^{ギョク}り^リ使^シて^テ海^{カイ}の^ノ時^ジ胡^コ桃^{タウ}を^ヲ得^{トク}し^シり。

木綿^{モメン} 十五

通^ツ鑑^{カン}に^ニ梁^{リヤウ}武^ブ帝^{テイ}木^モ綿^{メン}皂^{サウ}帳^{チヤウ}の^ノ下^カに^ニ使^シ用^{ヨウ}が^ガ

親^{シヤク}文^{モン}よ^ヨ云^{クニ}。木^モ綿^{メン}ハ^ハ南^{ナン}の^ノ多^タく^クと^トれ^レあり^リ。去^{キョ}二^ニ

二^ニ月^{ゲツ}と^トし^シく^ク終^{シュウ}成^{テイ}下^カに^ニす^スで^デな^ナし^シて^テ一^{イチ}月^{ゲツ}よ^ヨ

二^ニを^ヲい^イ藤^{フジ}の^ノ葉^{エフ}を^ヲ一^{イチ}枚^{マシ}と^トり^リ黄^{キナ}花^{ハナ}と^トせ^セし^シ。突^{ツキ}

と^トし^シて^テ製^{セイ}す^ス所^{ショ}よ^ヨあ^アく^ク。そ^ソの^ノ皮^{カバ}を^ヲ裂^{サケ}き^キて^テ中^{ナカ}に^ニ使^シ用^{ヨウ}

と^トし^シて^テ綿^{ワタ}の^ノ如^ニく^クと^トし^シて^テ一^{イチ}枚^{マシ}と^トり^リ。これ^{コレ}と^トし^シて^テ一^{イチ}枚^{マシ}と^トり^リ。梁^{リヤウ}の^ノ時^ジ

と^トし^シて^テ一^{イチ}枚^{マシ}と^トり^リ。木^モ綿^{メン}あり^リ。丘^{キウ}文^{ブン}在^{サイ}が^ガ既^{ゼツ}に^ニ綿^{メン}を^ヲた^タら^ラえ^エ

乃^ハ始^シ中^{チュウ}必^{ヒツ}ず^ズと^トし^シて^テ一^{イチ}枚^{マシ}と^トり^リ。い^イま^マに^ニ使^シ用^{ヨウ}が^ガ既^{ゼツ}に^ニ

考^{カウ}知^チす^ス所^{ショ}也^ヤ。楊^{ヤウ}升^{シヤウ}房^{フヤウ}又^{マタ}集^{シユ}

佛家門 第十七

佛入中國 十六

傳奕韓愈ホ皆佛ハ後漢明帝此時始て中
 國よ入とり。此をぐも弘法を佛と名のを
 するの。佛法の中必入る。も中來也
 魏略西戎傳とる。漢哀帝元壽元年。博士
 景憲受大月氏王使伊存口傳浮屠經。又劉
 向列仙傳序とる。仙を佛と名の。百四
 六人とり。その内七十四人。すべてに佛經あり

於時ハ。則漢成帝。哀帝の時にて。佛經あり
 る。故ある。漢武皇帝とる。昆邪王休屠
 多氏殺して。その血を以て造る。金人の神と
 り。武帝これと其象宮より。金人皆也
 文餘。その系よ牛羊と用ひ。も。名は燒ぬ
 礼と。武帝の。も。俗よ。又元狩二年
 昆明池をうぐ。時。度より。昆夷妖起り出
 ける。帝これ。東方朔よ。とる。東方朔が云。
 西域乃人よ。四象。これ。昆夷なり。んとい

王莽より先か後ハかくして禍ワウカのあひり
 りも。又む速スニヤカなり。晋孝武帝志佛シニシ法と考
 佐シニ。晋大元六年。禁中キンチウに精舍シヤウジヤと立て仏
 をあアンチ。ぬく此僧ソウハフシ法作ヤレナヒと表フカを深フカく考
 敬キヤウキエ後キヤウキエせしむけれと。王ワウカ維シニと云フカ。さフカぬく
 依イサメけイサメた用イサメしむ。その後天下ランギヤクに乱ランギヤク逆ランギヤクぬ
 くゴリン。又ゴリン備ゴリン乃ゴリンたゴリンるゴリンて。終キヤウキエにキヤウキエ後キヤウキエ使キヤウキエ
 人ゴシと云ゴシものゴシくゴシめゴシに。清セイシヨチニ思セイシヨチニ殿セイシヨチニてコロ裁コロさコロしコロけ
 れ。さてアンチ子アンチあアンチ帝アンチ位アンチ法アンチ結アンチくアンチ。天下アンチにアンチ

きりコロ。劉リウユウ裕リウユウとコロ溢コロすコロ裁コロされコロり。
 又キヤウキエ身キヤウキエ恭キヤウキエ帝キヤウキエ交キヤウキエ結キヤウキエて。後コロにコロ即コロ進コロしコロるコロたコロ福コロ子
 くリウユウもリウユウ劉リウユウ裕リウユウとコロ裁コロされコロぬ。父コロ子コロ三コロ代コロ皆コロ乱コロ婦コロ逆コロ
 臣シニ乃シニくシニめシニとコロ裁コロされコロて。終シニにシニ晋シニハシニ世シニ滅シニすシニり。梁リヤウ
 此チンチク世チンチクもチンチク天チンチク竺チンチクのタルマ達タルマ磨タルマとイフハフ云イフハフはイフハフ作イフハフ。中チヤコクまチヤコクよチヤコク事チヤコクり
 てゼン孫ゼン法ゼン紙ゼン起ゼンりゼン。時シヤウグ梁シヤウグ武シヤウグ帝シヤウグ是シヤウグよシヤウグ後シヤウグふシヤウグひ。
 ありシニくシニそシニ法シニとシニ考シニ佐シニしシニ。二シニのシニまシニひシニちシニ代シニ奴シニとシニか
 見ナンギヤク。難ナンギヤク行ナンギヤク若ナンギヤクめナンギヤクとナンギヤクしてサントク事サントクゆサントク。且テラ大テラ小テラ乃テラちテラと
 色タツりタツりタツ子タツ能タツチタツちタツかりタツしタツとタツ名タツ。かタツくタツれ

びくく金銀を抛ら。身と吾一め。又
 ふうく佛は又海一。朝書達戸は家一
 法政学は道一のた。何れ利益もれく。却て
 運長運子た為よこ下と頌ら進終よ尊
 一。大女よ主らるるをぬ一とくとも。親は親を
 助成るのみ一。こは後子孫衰弱なく教さる
 て。悉く收果ぬ南小朝の魏宣武帝。あらくは
 氏は海一。永平二年は莫大の金銀を費

一。天下は民力を盡一。永の累居るとい
 大才は財なり。帝はづら一佛をを憐後せ
 親。帝王の仏をを憐せしゆ。是れ也と
 や。是の時の賢長裴延儁といひ一人は
 聖賢はるハ云よ及ん。漢光武帝魏武帝
 など皆軍中ありても。又学をすてら進
 徳ありぬ。改正一。人々海服一。安んず
 始てこ下を好む。子孫をく天下り
 あり。されハ今く佛をを憐せしゆ

とる。よのせめて聖賢の去るをえまへ
 ーと。潤をやそけさゆーは孫けさ
 とを。カッ。モチヒ。次帝主くはかある
 といふ。大后とこ。農人商人よ。ま
 て。佛に。は久。傷。後。く。甚。なり。こ
 色。り。て。も。時。こ。下。此。邪。也。佛。ち。此。教
 大小一。万。子。解。これ。あり。け。れ。と。也。な
 六。自。解。と。こ。く。宣武帝。死。去。せ。り。後。又。は
 時。瑤。光。ち。と。云。大。ち。反。化。り。又。宣武帝。此

后朝大后魏の君 キカキゴタイコトキキ 宣武帝の世 キキ いたるの切 ヨウセウ
を治ぐ者也 ならむとく。少の改りをも。ま。け。る。が。
 宣武帝の死 シナ 一とせよ。事 アタ 一が
 ぶ。そ。一。一。金。銀。を。抛。ち。教。子。百。万。人。を ニシブ
 を費 ツイヤ 一。永寧 エイチイジ ち。と。り。大。寺。を。造。ら。し。め。り。其
サイモクドホキ 材。木。土。石。皆。て。下。り。美。を。考。せ。り。叔。九。を。此
タイタラ 大。塔。を。造。ら。し。し。に。先。を。下。地。を。よ。り。し
 教。十。丈。あり。て。土。石。を。入。地。築。と。一。地。形。を チキヤウ
 仕。也。そ。と。よ。り。九。十。丈。大。の。大。塔。を。造。ら。し。也。

又傷^{ソウバウ}房^ハ廣^{ヒロ}さ子^コる^ルなり。古^コ塔^タた^タま^マ。老^{コトク}く
 全^{キン}報^{ボウ}殊^{ジュ}玉^{ギョク}は^ハら^ラり^リむ^ムめ。錦^{キン}繡^{ジウ}を^ヲく^クは^ハら^ラり^リ。こ^コの^ノ壯^{サウ}觀^{クワン}と^トき^キら^ラめ^メ。及^キる^ル人^ニ
 多^ボ蒙^{レイ}か^カふ^フ。こ^コ下^ゲれ^レ壯^{サウ}觀^{クワン}と^トき^キら^ラめ^メ。及^キる^ル人^ニ
 公^シ自^ジと^ト路^ロを^ヲせ^セり。す^スべ^ク佛^{ブツ}法^{ポフ}の^ノ中^{チュウ}必^{ヒツ}し^シ後^ゴ
 已^イて^テし^シり^リこ^コの^ノし^シ。傷^{ソウ}徒^トた^タぬ^ヌく。佛^{ブツ}の^ノ書^{ショ}
 あり^リ。け^ケし^シ時^ジは^ハさ^サら^ラる^ルハ^ハな^ナり^リと^ト名^ナ。此^{ココ}は^ハ
 大^{ダイ}宣^{セン}武^ブ帝^{テイ}乃^ニ永^{エイ}明^{メイ}を^ヲ造^{ゾウ}り。隆^{リウ}光^{クワン}を^ヲ造^{ゾウ}り。
 佛^{ブツ}を^ヲ傳^{デン}せ^セし^シ。胡^コ大^{ダイ}后^{コウ}乃^ニ永^{エイ}寧^{ネイ}を^ヲ傳^{デン}せ^セり。
 是^{ココ}一^{イツ}時^ジ後^ゴ報^{ボウ}ハ^ハか^カく^クして^テ。十^{ジュウ}八^{ハチ}九^ク年^{ネン}た^タる^ル。

魏^キ帝^{テイ}肅^{ソク}宗^{ソウ}ハ^ハ胡^コ大^{ダイ}后^{コウ}乃^ニ毒^{ドク}害^{ガイ}せ^セし^シ也^ヤ
 て^テ死^シし。其^{ソノ}次^ジ乃^ニ王^{ワウ}も^モ遂^{スイ}后^{コウ}の^ノ毒^{ドク}を^ヲ受^{ウケ}け^ケし^シ也^ヤ
 害^{ガイ}せ^セし^シ也^ヤ。又^{マタ}其^{ソノ}次^ジ乃^ニ胡^コ大^{ダイ}后^{コウ}乃^ニ毒^{ドク}害^{ガイ}せ^セし^シ也^ヤ
 榮^{エイ}乃^ニ其^{ソノ}母^ボに^ニ何^{ナニ}も^モ死^シな^ナら^ラず。か^カの^ノ古^コ今^{キン}無^ム双^{ソウ}の^ノ
 大^{ダイ}古^コ大^{ダイ}塔^タと^ト流^{リウ}す^ス。是^{ココ}一^{イツ}時^ジ胡^コ大^{ダイ}后^{コウ}も^モ古^コの^ノ木^キ
 朱^{シュ}榮^{エイ}乃^ニ其^{ソノ}母^ボに^ニ何^{ナニ}も^モ死^シな^ナら^ラず。佛^{ブツ}と^ト
 多^タく^ク。類^{ルイ}ナ^ラら^ラず。大^{ダイ}古^コ大^{ダイ}塔^タと^ト流^{リウ}す^ス。是^{ココ}一^{イツ}時^ジ胡^コ大^{ダイ}后^{コウ}も^モ古^コの^ノ木^キ
 後^ゴ報^{ボウ}と^トし^シ。其^{ソノ}母^ボに^ニ何^{ナニ}も^モ死^シな^ナら^ラず。教^{キョウ}子^シ乃^ニ佛^{ブツ}法^{ポフ}の^ノ終^{シュウ}
 一^{イツ}の^ノた^タ。是^{ココ}一^{イツ}時^ジ又^{マタ}傷^{ソウ}の^ノた^タる^ル。是^{ココ}一^{イツ}の^ノた^タる^ル。

六年乃為之。て。そ。君。曰。人。の。道。も。殺。害
 又。あ。ひ。て。亡。ら。ぬ。天。下。も。君。も。人。の。心。也。
 く。か。あ。ら。ば。り。ひ。は。ま。あ。ら。す。死。も。あ。ら。ざ。り。
 や。又。唐。の。代。よ。り。り。憲。宗。の。時。え。れ。十。三
 年。の。法。作。た。り。ひ。け。り。ハ。鳳。翔。と。云。あ。ら。
 法。の。ち。の。路。も。佛。骨。あり。二十。三。日。よ。一。日。
 乞。と。穿。け。り。必。果。を。み。人。民。あ。樂。た。り。お。
 的。の。用。く。毎。の。年。よ。進。ま。り。と。云。け。り。と。
 部。占。た。君。よ。を。め。け。り。に。し。り。お。や。う。て。彼。

ち。よ。勅。使。と。下。し。殺。ぬ。此。法。作。と。傳。し。曰。
 ナ。四。年。乃。正。月。の。佛。骨。を。禁。中。に。遷。入。ら。せ。
 そ。た。は。乞。と。あ。ら。す。送。り。帝。王。妙。け。た。り。と。ハ。
 公。卿。大。夫。と。り。下。土。民。も。あ。ら。す。金。銀。
 為。宝。と。授。け。り。賜。物。紙。を。ん。と。法。と。ん。も。
 初。に。韓。退。之。と。云。貴。臣。佛。骨。長。と。云。又。と。云。
 て。乃。を。法。と。し。傳。け。り。そ。あ。ら。す。一。此。法。
 ハ。古。に。聖。賢。伏。犧。神。農。黃。帝。堯。舜。禹。湯。
 文。武。の。君。と。始。め。為。仁。義。又。倫。の。乃。を。以。

漢明帝。東都の城門の外にありて、
 高き。摩騰竺法崇を以て、
 ち也。摩騰始西域より來り、
 訪して來り。鳩摩寺と云ふ。
 於彼金代名也。ちと云ふハ、
 隋房の号より云ふ。この何處、
 のかりぬ。鳩摩寺は、
 あり。此は佛氏のり云ふと云ふ。
 て白鳥寺と云ふ。白鳥寺の始、
 く道場と云ふ。後よ又と云ふ。

尼寺 二十

佛史畧に云。東晋の何充始て、
 至。け尼寺の始也。

佛像

後漢の明帝。金人の也。大なりて、
 光あるを以て。傳毅が云。天竺より、
 して佛と云。こゝよかぬ。伎を天竺より、
 せして。その形像を圖せしむ。是中、
 あり。始也。宋公も云。漢世より始て、
 今始なり。尚書に、
 佛像ハ、

を優む。乞伏氏乃始也。奉物紀尔。傷史略よ
云。康僧舍。吳赤烏年中。以後始を優む。
乞伏氏始す。始也。

戒律 九五

僧史略よ云。漢靈帝建寧三年。有。阿世高
ら。めよ義决律二をを抄ん。次よ法丘依
禁律あり。魏乃世よ。天竺の三藏曇摩加死
と。りよもの律洛よ。即り。魏の傷此律範るよ
事と。なげよ。遂よ嘉平年中に。魏の始よ曇
諦と。抄れ。四分羯磨。及傷戒心圖と

次と。中園戒律乃始也。事物紀尔
ト曰

戒壇

傷史略よ云。漢魏の対此傷。刺髮深長すとい
愈とも。戒法。守。備。三。改。を。う
く。嘉平西元年中。子。た。子。魏の母。王。と。て。ん。戒。律
と。傷。大。傷。羯。磨。乃。法。丘。立。乞。伏。丘。戒。壇。と。立
於此始也。

受戒 九七

偽史略よ云。中國のちの戒を文ふる。魏の
朱士行よりしるし。一書。

尼壇 九八

偽史略よ云。戒を文ふる。偽と尼壇を同し
くせし。宋大祖。尼の信中に此の文あり
うと云ふ。これより始る。壇を起り。宋初
會要よ云。開宝元年。宋大祖二月。詔して今
より尼の度。合志あり。と。まじく。ちあり。件
して。壇を記し。戒を上げし。めよと命せし

れ。されより別よ。尼の文戒壇と云

尼受戒 九九

薩婆多。作質偽よ云。宋元嘉十一年。
劉宋の文帝の年号。昨子國。大尼。鉄索。孫。康。南
林。方。壇。と。よ。お。の。く。景福寺と云はれ。
尼。果。澤。寺。戒。法。の。り。く。中。心
の。尼。戒。と。文。ふる。と。果。お。り。し。る。し。書。

禪法 三十

宣林の云。佛涅槃の時。迦葉よ告て曰。吾

法隆寺は法服を以て汝に付け。迦葉より阿
難より佛より。二十八代ありて達磨よりある。梁
乃善通年中。中子。梁武帝南天竺より海より
後て廣州よりあり。後子嵩山より止て少林より
住し。唐可より佛より中。西極と法隆とあり。こ
色よりありとまれ也。

新釈 卅一

佛傳より回。出家して佛よりある。ぐんハ氏を
命と。晋より道安。業紙佛圖澄よりうく。彼が
姓ハ帛氏也。石あかよりうく。昨ハ佛よりある
教りより。蓮より釈と以て姓とあり。佛は釈氏
と称する。石あかよりうく。

佛傳 卅二

佛史略より回。佛は魏より代よりある。朱を新か
佛史と稱せし。よりありとまれ也。

尼傳 卅三

佛史略より云。東晋廢帝大和三年。洛陽
東方より尼を齋と稱し。よりありとまれ也。法華維摩

よ返して。邦を研窮と。一方の宗廟を
己。則ち尼。儒。統。の。始。也。

偽僭 卅四

洪。の。集。よ。え。後。魏。乃。大。祖。也。時。法。果。率。と。諸
胡。靈。と。と。僭。と。己。偽。僭。と。賜。の。始。也。

偽官 卅五

隋。文。帝。既。乃。廢。孫。と。以。て。翻。經。館。に。學。士
と。ん。是。始。て。偽。よ。命。と。り。子。友。を。以。て。と。

偽孫 卅六

廣。洪。の。集。よ。え。後。魏。乃。大。祖。也。始。年。中。よ。
少。の。法。果。を。以。て。統。と。て。偽。位。と。後。楊
せ。し。む。文。帝。作。賢。と。以。て。偽。統。と。ん。參。言
借。孫。よ。え。後。秦。乃。姚。萇。道。碧。と。立。て。偽。位。と
と。秩。ハ。偽。命。法。欽。慧。斌。偽。孫。と。當。り。始。と。同。し
も。偽。正。偽。孫。を。立。り。の。始。也。

梅。す。り。よ。偽。史。略。よ。え。偽。位。と。ん。正。改。也。自
心。し。人。と。心。し。て。以。て。政。令。と。志。く。有。よ
偽。位。と。ん。蓋。比。丘。乃。法。の。始。也。ハ。る。れ。輿。論

かく。中^シ此^ハ費^ハ纒^ハあり^テ。後^ハヤ
俗^ハ風^ハよ^ク深^ク。新^ハ剛^ハよ^ク乖^ハん^トん^トん^ト。后^ハよ^ク徳^ハを^シ
ある^トもの^ヲを^シ後^ハて^シ。法^ハと^シつ^クこれ^ヲと^シ纒^ハ
て^シ正^ハよ^ク。心^ハよ^ク。后^ハよ^ク。偽^ハ正^ハと^シ云^ハ。此^ハ偽^ハ秦^ハの^シ
偽^ハ碧^ハと^シ始^ハと^シと^シ。

偽号 卅七

後^ハ秦^ハ此^ハ地^ハ摩^ハ死^ハ什^ハ。始^ハて^シ法^ハ作^ハと^シ号^ハと^シ。後^ハ中^ハ心^ハ乃^ハ名^ハ偽^ハ。又^ハ法^ハ作^ハと^シ稱^ハと^シ。晋^ハ此^ハ代^ハ女^ハ死^ハと^シ
孝^ハ堂^ハと^シよ^ク偽^ハん^ト。后^ハ長^ハ大^ハ徳^ハ乃^ハ河^ハの^シ子^ハ餘^ハ人^ハ
あり^ト。此^ハ始^ハと^シ大^ハ徳^ハ乃^ハ稱^ハあり^ト。後^ハ趙^ハ乃^ハ石^ハ虎^ハ。佛^ハ
圖^ハ陀^ハと^シ号^ハして^シ大^ハ和^ハ尚^ハと^シ云^ハ。是^ハ和^ハ尚^ハと^シ稱^ハす^ト。
乃^ハ始^ハ也^ハ。晋^ハ此^ハ始^ハ。地^ハ摩^ハ死^ハ資^ハ。宋^ハの^シ旁^ハ懸^ハ茲^ハよ^ク
後^ハ也^ハ。王^ハ法^ハて^シ心^ハ作^ハと^シん^ト。是^ハ心^ハ作^ハと^シ稱^ハす^ト。
此^ハ始^ハ也^ハ。果^ハ慧^ハ約^ハよ^ク初^ハして^シ云^ハ。允^ハ膺^ハ。周^ハ梨^ハ之^ハも^ク属^ハ
南^ハ智^ハ者^ハと^シ号^ハけ^シ。原^ハ号^ハ此^ハ始^ハ也^ハ。唐^ハ中^ハ宗^ハ祚^ハ終^ハ
二年^ハよ^ク。萬^ハ廻^ハを^シ号^ハして^シ。法^ハ靈^ハ云^ハと^シ云^ハ。姚^ハ秦^ハ又^ハ死^ハ
什^ハと^シ号^ハして^シ大^ハ作^ハと^シん^ト。大^ハ作^ハ乃^ハ名^ハと^シん^ト。

偽号 卅八

ソウレハク
偽史略といふ。唐の則天皇后の時、偽史
ハタケイウシモウ
詔大雲經を撰し。符命此云との。此詔亦
ムラサキゲサ
皆ハカサキヤと賜ふ。偽史云云と賜ふ。則天
皇后より云ふ。

中華事始卷之六 大尾

予嘗輯録於和漢事始然而恐考
索之疎漏韞匱而藏諸今應童蒙
之求略加校正以授之尚刪其誤
補其闕俟他後之閑日云尔

元祿丙子之歲晚秋日貝原好古書

元祿十年夏五月

平安城書林

長尾平兵衛

水谷小兵衛

上島瀨平

大井七郎兵衛

全梓

真知路

田代

